

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/07/04号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需要不安と供給不安交錯で、不安定な値動き

NY原油先物相場は、1バレル=104~114ドル水準で乱高下する展開になった。急激な金融引き締めによるリセッション（景気後退）のリスクが上値を圧迫するも、根強い供給不安やドライブシーズンの需要期待が下値を支える展開になった。6月22日の101.53ドルをボトムに29日には114.05ドルまで切り返したが、週末にかけては108ドル台中盤まで再び軟化する展開になった。6月30日の石油輸出国機構（OPEC）プラス会合では、7月に続いて8月も日量64.8万バレルの増産を行うことで合意する一方、9月意向の生産方針については合意形成が先送りされている。

パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が景気減速よりもインフレのリスクを重視する姿勢を再確認したことで、マーケットは強力な利上げによる実体経済の減速、更にはリセッションのリスク織り込みを進めている。非鉄金属や株式相場の地合が悪化している。一方で、これが原油需給の緩和状態をもたらすリスクと言えるのかは懐疑的な向きも多く、売買が交錯する不安定な値動きになった。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（6月24日時点）は、原油が前週比276万バレル減、ガソリンが265万バレル増、石油精製品が256万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需要不安でも値崩れ回避、根強い供給不安で高値維持の必要性

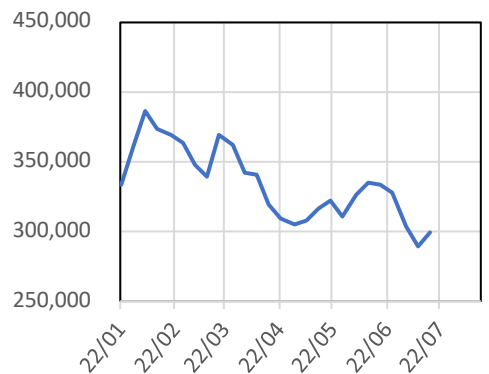
需要不安の消化が進み、改めて下値を固める展開になる。リセッションの脅威がコモディティ相場全体の上値を圧迫しているが、原油に関しては根強い供給不安から大幅な値下がり許容できる環境にはないとの見方が優勢になり易い。パニック的な売り圧力が徐々に消化されており、100ドルの節目を前に下値を固めることができるかが打診される。

7月4日は独立記念日であり、連休中の行楽需要が注目される。全米自動車協会（AAA）は、自動車を利用した旅行者は全米で4,200万人と、過去最高に達する見通しを示している。ガソリン小売価格が過去最高値を更新しているが、ここで夏の行楽需要に対する期待感を高める良好な旅行ニーズが確認されると、原油相場の地合は引き締まり易い。

一方、OPECプラスは7月に続いて8月も日量64.8万バレルの増産を合意しているが、実際にこれだけの規模の増産が可能かは疑問視する向きが多い。生産割当未達の産油国も多い。7月13～16日にバイデン米大統領は中東を訪問する予定であり、改めて産油国に対して増産を呼び掛けているが、反応は鈍い。

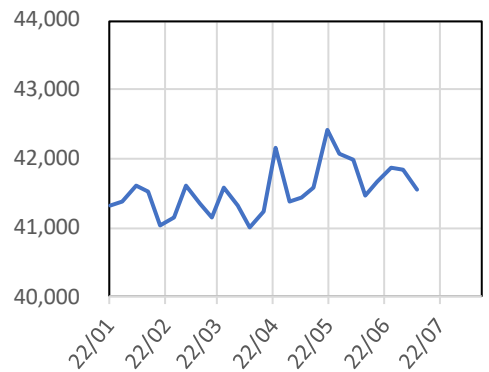
リセッションが大きな需要リスクであることは間違いないが、現状ではまだリセッション入りするのか不透明であり、短期的な需要環境は季節要因で良好とみられる。中国で新型コロナウイルスの感染被害が終息していることもポジティブ。根強い供給不安からは、少なくとも大きな値崩れは要求されず、株安・ドル高一服や在庫減少報告などがあると、115～120ドル水準を打診する可能性も十分にある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



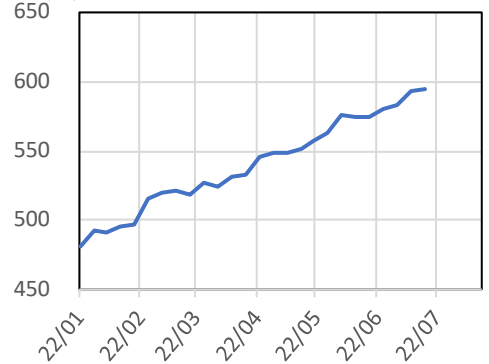
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

